

平成23（2011）年度の県内総生産は5兆6430億円でした。山口県の産業といえば、瀬戸内海沿岸の工場群、日本海側の水産業など、いろいろ特徴的なすがたが思い浮かびますが、各地域の状況はどのようになっているのでしょうか。

周南地域は、周南コンビナートを有し製造業が盛んで、第2次産業の割合が47.6%と高く、総生産の規模を押し上げているため、1兆3366億円と最も大きくなっています。

一方、1兆2615億円で総生産2位の山口・防府地域は、第3次産業が72.6%を占めるのが特徴的です。情報通信業や、国、県をはじめとする行政機関などの割合が高いことが要因です。

また、山口・防府地域と同じく第3次産業の割合が高いのが柳井地域です。82.8%と県内で最も高くなっていますが、これは火力発電所を有し、電気業の割合が高いためです。

日本海側の長門地域、萩地域も特徴的な数値を示しています。両地域とも第1次産業の産業別構成比が県計の1.0%を大きく上回っており、農業や水産業が盛んなことがわかります。紙面の都合上、すべての地域を紹介することはできませんが、県が毎年3月に公表している「市町民経済計算」という統計資料では、県内各市町の経済活動の状況を推計しています。県統計分析課のホームページにも掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。今回紹介できなかった地域について、違う視点から分析するのもおもしろいと思います。

平成23年度地域別市町内総生産

地域区分	23年度		23年度 産業別構成比(%)		
	実数(百万円)	全県比(%)	1次	2次	3次
岩 国	682,007	12.1	0.6	50.1	49.4
柳 井	195,064	3.5	1.6	15.6	82.8
周 南	1,336,636	23.7	0.3	47.6	52.1
山 口 ・ 防 府	1,261,549	22.4	0.8	26.6	72.6
宇 部 ・ 小 野 田	1,011,963	17.9	0.9	37.1	62.0
下 関	899,860	15.9	1.2	25.5	73.4
長 門	105,195	1.9	6.0	24.8	69.2
萩	150,731	2.7	5.0	14.9	80.1
県 計	5,643,005	100.0	1.0	35.4	63.6

注) 産業別構成比は、市町内総生産から輸入品に課される税・関税、総資本形成に係る消費税を除いたものを100として計算している。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a12500/index/>